

2008年(平成20年)12月4日 木曜日

# 「無洗米」の先入観を変えたい

「すよ」と利便性を挙げ

「無洗米は、コメを研がずにおいしいご飯が炊けて便利。研ぐと、かえって食味が落ちて



しまう」と話すのは、ハナノキ会長の池山健次さん。しかし、コメは研いでから炊くとい

## ハナノキ会長 池山 健次さん



う習慣が身についている人にとつては、勝手が違うのか、無洗米に違和感を抱く人も多いらしい。

首都圏などに暮らす若い女性ほど、抵抗なく無洗米を購入する。対照的に、地方に住む高齢者は従来のコメを買い求める傾向が強いという。

それでも高齢化が進む日本では、食事の準備にも苦勞が予想される。「計量して水を注げば、あとはスイッチを押すだけで炊き上がる。冬の冷たい水仕事からも解放されま

### 女性進出の追い風 高齢者取り込みへPRも

会進出が活発になり、若い女性だけでなく、主婦にも人気だ。「朝食の準備に加え、弁当も作らなくてはならない。時間に追われる主婦にとつて、コメを研ぐ時間も惜しいだけに、力強い身方になるんでしよう」と読み取る。

市場の好感を背景に、午前九時までに注文すれば、北海道と沖縄県を除いて、ほぼ翌日には配達可能なシステムも導入している。無洗米の販売量は右肩上がりの状況が続き、「時代のニーズもあり、浸透は加速するだろう」と予想する。

(北名古屋)